求人件名	函館工業高等専門学校 一般系（英語） 教員公募
機関名	函館工業高等専門学校
機関ＵＲＬ	https://www.hakodate-ct.ac.jp/
部署名	一般系
求人内容	［機関の説明(募集の背景、機関の詳細等)］ 本校は中学校卒業者を対象とした5年制の国立高等教育機関である高等専門学校です。生産システム工学科(機械コース、電気電子コース、情報コース)、物質環境工学科、社会基盤工学科から成る3学科体制です。1年生は混合学級として5クラスで共通授業を行い、2年生から学科・コース選択としています。さらに、5年の本科課程修了後に2年制の専攻科が設置されています。専攻科は、本科の各学科に連続する生産システム工学、物質環境工学、社会基盤工学の3専攻からなります。 ［仕事内容］ 担当　　：一般系（英語） 専門分野　：英語教育、TESOL、英語学 担当教科目：総合英語、英語演習など、英語およびTOEIC指導など英語関連科目 ［勤務地住所］ 北海道函館市戸倉町14番1号 ［募集人員］ 准教授、講師または助教1名 ［着任時期］ 令和9年(2027年)4月1日
研究分野	大分類　人文学 小分類　言語学（外国語教育学）
職種	准教授、講師または助教
勤務形態	常勤(任期なし)
応募資格	(1)高専における教育、研究、学生指導(学級担任、寮生指導、課外活動等)、各種委員会業務等に理解と熱意があり、これらを実行することができる方。 (2)修士以上の学位を有する方。 (3)日本人の場合には、中学校教諭免許状（英語)、または、高等学校教諭免許状（英語）を有する方。 (4)本校の教職員と連携・協力して、上記業務を滞りなく、実行する方。 (5)地域貢献、国際交流等に意欲のある方。 (6)日本語を母語としない場合には、校務担当に支障をきたさないため、日本語能力試験(JLPT)N3レベル以上、またはそれと同等以上の日本語運用力を有する方。
応募締切	令和8年(2026年)　6月 30日(火)　(必着)

応募・ 連絡先・ 選考・ 結果通知	[応募書類] (1)履歴書(本校様式1、写真添付) (2)教育・研究業績目録(本校様式2) (3)研究業績概要(A4、英語700語または日本語1,200字程度で、様式自由) (4)可能であれば、主要な原著論文3篇の別刷(コピー可)各3部 (5)教育、学生指導および管理運営等に関する実績(本校様式3) (6)着任後の教育、研究、学生指導等に関する抱負(A4、英語1,100語または日本語2,000字程で、書式自由) (7)推薦状1通、及び照会者2名(所属、職、氏名、住所、電話番号、e-mail等) (8)その他（審査に役立つと思われるもの） ※(1)、(2)及び(5)の書式は、下記公募のホームページからダウンロードできます。 [応募書類送付先] 〒042-8501　函館市戸倉町14番1号 函館工業高等専門学校長　　清水　一道 ※封筒の表に「一般系（英語）教員応募書類在中」と朱書の上、簡易書留で郵送願います。原則として応募書類は返却しませんが、特に返却を希望される場合は、返信用封筒(切手貼付)を同封して下さい。なお、応募書類に記された個人情報は、本校の教員選考のためにのみ使用し、その他の目的には使用しません。 [選考方法] 第一次選考　書類審査 第二次選考　面接審査(模擬授業を含む) (第一次選考合格者に対して実施日時をお知らせします。なお、面接のための交通費、宿泊費等は応募者負担となります。) [問い合わせ先] 函館工業高等専門学校　一般系　系長　教授　下郡　啓夫 TEL：0138(59)6367、 e-mail：a.shimo@hakodate-ct.ac.jp [書類提出等に関する連絡先] 函館工業高等専門学校　総務課人事係 TEL：0138(59)6313、e-mail：jinjicho@hakodate-ct.ac.jp [公募ホームページ] https://www.hakodate-ct.ac.jp/guidance/kyoinkoubo
備考	本校は、男女共同参画を推進しており、業績(教育業績、研究業績、社会的貢献、人物を含む)の評価において同等と認められる場合には、女性を優先的に採用します。

函館高専の教員が携わる校務内容の概略

現在、わが国の高等教育機関においては大きな変革の波が押し寄せており、本校もその真っ只中にいて、全国高専に先駆けての高度化再編の実施など、新たな生まれ変わりを果たすべく全校あげて取り組んでいます。25 年度に発足した新学科では、これまで以上に国際的に活躍できる技術者の育成に力を注いでおり、教員の英語でのコミュニケーション力も重視しております。

高専は、その教育目標や学生の年齢層（本科：16～20 歳、専攻科：21～22 歳）の幅広さなどから、大学や高等学校とは本質的に異なる点があります。高専の教員は、教育、研究、学生の生活指導などの全てに対して情熱を持って積極的に努力する姿勢が求められます。ここでは、函館高専教員（一般系）の校務について、認識をさらに深めていただくために、その主なものを記します。

（１） 授業

教員の担当授業時数は、本科における講義が週約 8 コマ（1 コマ 90 分）です。さらに、専攻科の講義などがこれに加わります。定期試験は年 2 回あり、前期末と学年末には成績不振学生に対する特別指導など、全員合格を目指して指導します。

また、教員相互に行う授業観察や年度末などに行う学生による授業評価などを通して、教育方法の改善に継続的に取り組むことが求められています。

（２） 卒業研究・特別研究指導

一般系教員も、その専門分野によっては本科５年生の卒業研究を担当することがあります。卒業研究は、本科における教育の集大成として非常に重要な役割を持ち、また、教員と学生の密接なつながりの中で成り立つ科目ですので、より一層、教員の指導力が要求されます。

また、本科５年生や専攻科２年生の進学希望者に対しては、大学編入学または大学院の受験指導のため、個別な指導が求められることもあります。

（３） 研究

高専の教員は、教育面や学校運営への参画のみならず、研究面での業績も求められます。研究に対する意欲的な姿勢と成果が学校全体の教育研究面の活性化を促し、さらには地域社会への貢献につながることが期待されています。

（４） 学級担任

本学科の教員には、主に第１～第２学年の学級担任をしていただくことがあります。学級担任は、１学級 40 人程度の学生への勉学や生活指導など、学生生活全般にわたるきめ細かな指導が強く求められます。例えば、高等学校と同様に、毎日、教室清掃の指導、体育祭や高専祭など各種行事での指導、学生への個人面接や保護者との懇談なども重要な職務となっています。

（５） 各種委員会・会議

本校には、教務委員会、学生委員会、寮務委員会をはじめ、各種の委員会があります。学級担任との兼務あるいは複数の委員会に所属することもあります。委員会に所属した場合には、多岐にわたる仕事をこなすことが求められます。例えば、寮務委員会は月一度程度の宿直に加えて、学寮内の巡回、寮生の日常生活の指導、寮での各種行事・寮生会所属の各委員会活動の指導などを行います。

その他、定期的に学科会議や教員会議等が行われます。情報交換や学校運営に対する意見の集約等を行う重要なものとなっています。

（６） クラブ顧問

クラブ顧問としての日常的な指導をはじめ、運動系の場合には、高専体育大会（地区大会・全国大会）の運営や高体連などの各種大会および練習試合の引率、合宿時の指導などがあります。

（７） 学寮の宿日直

本校では、原則として全教員に学寮の宿直と日直（日直は土・日・祝日のみ）が割り当てられます。寮務委員以外は年数回の割り当てですが、女子寮も設置されており女性教員による宿直もあります。約 200 名の男女寮生を指導するこの職務は、本校教員の重要な教育業務の一つです。

（８） 社会貢献

本校では、共同研究、受託研究、公開講座、出前講座など様々な形で地域連携活動を展開しています。地域社会からも様々な形で本校に対する要望が寄せられます。地域連携活動が学生教育へ及ぼす効果に加え、地域に根ざした高専としての存在価値を高めるためにも、高専教員には積極的に地域社会に対して貢献する姿勢が要求されます。